

# アスベスト対策強化の改正法公布

「大気汚染防止法の一部を改正する法律」が2020年6月5日に公布されました。  
 また、「石綿障害予防規則の一部を改正する省令」も2020年7月に公布されており2020年10月より順次、義務化されます。アスベスト除去に関する規制強化内容の一部をお知らせします。

## 仕上げ塗材も対象に

吹付けられているかどうかに関わらず、グラインダー等の電動工具を用いて仕上げ塗材を除去する作業については、**湿潤な状態**にすることに加えて、作業場所を隔離しなければならないこととする。

これがぴったり!

## AGバブルシステム



泡で粉じんを絡め取り吸引する工法

## 事前調査を行う者は資格が必要

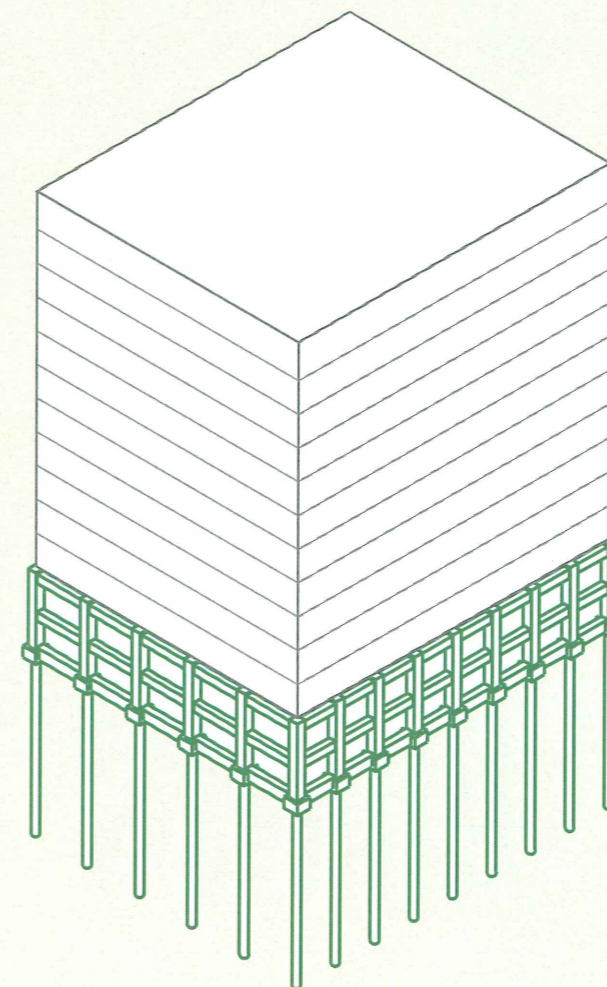
- 事前調査を実施することができる者
- ・特定建築物石綿含有建材調査者
  - ・一般建築物石綿含有建材調査者
  - ・一戸建て等石綿含有建材調査者
- ※一戸建て住宅・共同住宅の住戸の内部に限定  
 ・令和5年9月までに日本アスベスト調査診断協会に登録された者



## アスベストの有無に関わらず、事前調査結果等の報告が義務化

- ・解体部分の床面積が80㎡以上の建築物の解体工事
- ・請負金額が100万円以上の建築物の改修工事、特定の工作物の解体・改修工事

# コンステックの 既存地下躯体 再利用支援技術



壊さないで  
残していくコン!



正しい診断・たしかな施工

株式会社 **コンステック**

URL <https://www.constec.co.jp>  
 Mail [info@constec.co.jp](mailto:info@constec.co.jp)



ホームページ



事業所一覧

- 本社 〒540-0031 大阪市中央区北浜東 4-33 北浜ネクスビル  
 TEL (06)4791-3100 (代) FAX (06)4791-3102
- 支店 札幌・仙台・東京・名古屋・大阪・神戸・松山・広島・福岡  
 営業所 帯広・福島・新潟・横浜・富山・金沢・福井・静岡・高松・高知  
 山口・北九州・長崎・熊本・鹿児島・沖縄



コンすけ

# コンステックの 既存地下躯体 再利用支援技術

東京の都心3区（千代田区、中央区、港区）では、今後5年間に新築される大規模オフィスビルの61%が建て替えとなるとの調査結果が発表されています。  
コンステックでは上部構造だけでなく、既存地下構造についても、「調査・診断」で把握した建物の現状にお客様のニーズを併せて、「補修・改修」を提案して施工いたします。  
今回は、ご提案できる技術と工法の一部を紹介いたします。

## 既存躯体 再利用の メリット

- 1 コスト縮減
- 2 工期短縮
- 3 解体廃棄物低減
- 4 掘削土量削減
- 5 CO2削減、環境負荷低減
- 6 隣接建物への影響の低減
- 7 騒音・振動の低減

## 調査・診断

既存躯体の「健全性」「耐久性」を知ることで適切な「補修・改修」を提案いたします。対象範囲の部材・材料を詳細に調査し、正しい診断を行います。

調査一覧リンク



### 基本

#### ●健全性調査

図面照合調査、躯体寸法、配筋調査、不同沈下調査、床スラブのたわみ調査、改修工事等によるあと施工開口調査等



#### 外壁調査

赤外線カメラや高解像度カメラ等、非接触という特徴を活かし歴史的建造物の調査にも応用しています。

#### ●材料強度の確認

コンクリート圧縮強度試験  
鉄筋引張試験



#### 非破壊鉄筋腐食調査

コンクリート内鉄筋の腐食を広範囲に調査が可能です。照合電極によって、コンクリート表面の電位分布を測定しその傾向から、鉄筋腐食が生じている箇所を推定します。

#### ●耐久性の確認

中性化試験、ひび割れ程度の調査、かぶり厚さ調査、鉄筋腐食度調査、透水試験、漏水調査

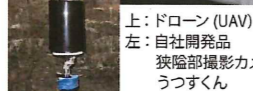
#### ●耐震性能調査

耐震診断  
常時微振動測定、強震観測



#### 人が立ち入れない場所の調査

高所や安全が確認されていない等の危険な場所に立入らずに、建物の状態を把握できます。



お客様のニーズに幅広くお応えしていくため、多数の技術者や有資格者が業務にあたっています。



上：ドローン(UAV)  
左：自社開発品  
狭角部撮影カメラ  
うつつくん

【躯体の調査】

REUSE

【杭の調査・試験】

## 地下躯体の 再利用・仮設的利用

- 地下外壁の仮設利用  
山留め壁の変形応力解析
- 地上階解体時の浮き上がり解析

## 環境の健全化

- アスベスト含有建材の除去
- 土壌汚染対策
- そのほか有害物質の除去



AG パブル工法



土壌汚染対策

## 補修・補強

調査結果を分析・検討の上、適性な対策を講じることで、既存躯体を安心して活用することができます。

工法一覧リンク



#### ●中性化対策

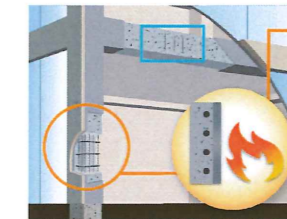
再アルカリ化、中性化抑制  
かぶり厚補修

#### ●躯体の補強

床スラブたわみ補強  
壁、床、梁のあと施工開口補強  
壁増設等の耐震補強

#### ●防水・止水

地下躯体からの漏水抑制

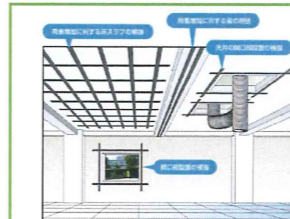


EPC 耐火モルタル

#### EPC 耐火モルタル

第三者機関で耐火性能を確認したポリマーセメントモルタルです。通常の断面修復をはじめ、耐火性能が必要なコンクリート構造体の補修にも用いることができます。

### コンバージョン向け



eプレート工法



リダブル工法

#### スラブ・梁の曲げ補強 あと施工開口梁の補強

建物のコンバージョンを行う際、床荷重が設計時の想定よりも増加すること、設備配管を新たに設置するため梁にスリーブ孔を設けることなどが課題となります。

★既存地下躯体再利用における  
第三者審査・評価取得の支援も  
行っています!!

オフィシャルキャラクター  
コンすけ



## 杭の再利用

#### ●健全性調査

杭配置、杭径の確認：目視調査  
杭長、損傷位置の調査：非破壊試験(IT)、ポアホールカメラ  
材料強度の確認：コンクリート圧縮強度試験、鉄筋引張試験

#### ●支持力の調査

鉛直支持力：載荷試験  
水平支持力：地盤定数調査、水平載荷試験

## 既存杭と新設杭の併用

- 既存杭と新設杭の沈下剛性差の確認
- 急速載荷試験